

第9回 市長とジェンダーミーティング 開催報告

日時：令和7年1月20日(月) 14時30分から16時00分

会場：市民活動センター1階 多目的ホール

参加者：市長、協働・男女平等参画室長、企業・市民団体等33名、事務局4名

《第1部》

●市長挨拶

私が市長に就任して初めてのジェンダーミーティングでございますが、私も市議会の議長をさせていただいている時、まだ市民会議と呼ばれていた時でございますが、この会に参加させていただいたことがございます。苫小牧市といたしましては、日本女性会議の開催を含めこれまで皆さんの様々なご協力の下でこの男女共同参画の社会づくりに取り組んできているわけでございます。

私も昨年12月の選挙におきまして、誰もが住みやすいまちづくりを進めていくということ掲げさせていただいております。苫小牧市中でも様々な社会課題がございます。子供たちを取りまく課題も進めていかなければいけないことだと思っているわけでございます。

ジェンダーということが言われて時間が大分たってきておりますけれども、我が国においても、苫小牧においてもまだまだこれからということがあろうかと思っております。ジェンダーギャップ指数も世界の中でも我が国はまだ低い中にあり、特に政治経済においてはそのような指摘がなされているわけでございます。

本日は女性の健康課題理解で変わる職場コミュニケーションということで坂梨 亜里咲さんにお越しいただきました。

本日の講演会をきっかけにして、女性の健康課題への理解が進み、誰もが生き生きと暮らすことができるまち、苫小牧になっていくことを願ひまして、私からのご挨拶に代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

●職場の未来をつくるヘルスケア講演会「女性の健康課題理解で変わる職場コミュニケーション」

講師：mederi株式会社 代表取締役 坂梨 亜里咲氏

《第2部》

●グループディスカッション

各自が新たに気付いたことや感想についてグループ内で共有

●行動宣言

事務局が参加者の行動宣言を読み上げる

メンバー 1 私は個別対応します。	メンバー 1 0 私は知識を伝える活動をします。
メンバー 2 私は女性に対する配慮を忘れずに、ひとり一人に接します。	メンバー 1 1 私は健康管理支援サービスを導入して、やさしい職場づくりをします。
メンバー 3 私は良き理解者になるように頑張ります。	メンバー 1 2 女性・男性両方の目線で考え、共感・共有します。
メンバー 4 私は自社の従業員が女性の健康へのリテラシーを高められるようにします。	メンバー 1 3 私はお互いに配慮ある、休むことへの抵抗感を無くす職場環境に尽力します。
メンバー 5 私はひとり一人の体調変化に気を配りながら、時間外にもヘルスケアをオンライン等で相談できるシステム導入を考えたいと思います。	メンバー 1 4 私は男性と女性、一人ひとりの違いがあることを知り、普段のコミュニケーションを通じて相手の気持ちを理解するよう努力します。
メンバー 6 個人によって違いがあることなので私は身近にいる知り合いの社長等に今日の話をします。	メンバー 1 5 私は不妊についての理解を共有します。
メンバー 7 私は職員全員のリテラシー向上に努めます。	メンバー 1 6 女性に限らず男性も含めた全体でヘルスケアへの理解向上に努力します。
メンバー 8 私は社員と理解を深めるための対話をします。	メンバー 1 7 私は職場での勉強会を実施します。
メンバー 9 私は正しい知識を男女関係なく共有して行動します。	メンバー 1 8 私は健康支援への取組の社内外への積極的な発信をします。また、不調や悩みを相談できる関係づくりに努めます。

●市長より感想

皆さん大変長時間に渡りましてお疲れ様でございました。ありがとうございました。

今ここに書いていただいたメッセージを、私も各テーブル回りながら確認させていただいたところ、革新的なご意見があったと思っています。B テーブルは大企業の方々にご参加いただいておりますが、各社、制度としてはこういう制度があるが、それをしっかり使うか、あるいは使えるかは、やはり個々人の判断があるというのが一点と、やはりそのような制度を使いたい、お休みしたいと思ったとき、躊躇なく休むことができる環境や、人間関係ができていくということが課題なのではないかとお話しされていまして。制度がなくてもちょっと身体が大変だと思えば、まわりが休んでいいよと言えることが大事なのだろうと思いますし、制度があるだけではなく、それをしっかり使えることが大事だと思いますので、相手を思いやる気持ちをどう職場で醸成するか、あるいは急に今日お休みしたい、今からお休みしたいといったときに周りからいいよと言っただけの人間関係づくりと、日ごろからの仕事ぶりといったところが全体的に必要なようになってくるのかなと感じた次第でございます。皆さんそういう意味では同じような課題を把握されてらっしゃるし、こうしたらいいという思いを持っていることが各テーブル回りながら感じておりますので、これが今後の職場の女性の健康、今回は特に生理というお話でしたけれども、みんなが働きやすい、みんなが住みやすい社会を、これからも苦小牧で作っていくことに繋がっていったらと思っております。

最後となりますが、公演いただきました坂梨さん本当にありがとうございました。

様々な発見があったと各テーブルからご意見が聞こえており、今後ともご指導いただきたいと思いますので、何卒よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。皆さん今一度、坂梨氏に拍手をお願いします。以上で私からの話を終わります。ありがとうございました。

●事務局から連絡事項

皆様、ありがとうございました。事務局から皆様にお願いとお知らせががございます。

市長とジェンダーミーティングでは、メンバーの皆様から外部への発信のご協力をお願いしております。SNS での発信や、職場への報告、同僚との雑談や、家族との会話の中で本日の内容を話題にするなど、今日感じたこと、得たものを、身近なところからアウトプット・発信をお願いいたします。

今回撮影した集合写真とお一人ずつ撮影したお写真については、メールアドレスをお持ちの方には、後日データを送付させていただきますので、発信にご活用ください。また、その他の方でデータのご希望がありましたら、担当までお声掛けください。これが、苦小牧市全体にイノベーションを起こす第一歩になると考えておりますので、よろしくお願い

いたします。

併せて、お手元にご用意しておりますアンケートへのご回答をお願いいたします。本日参加してみての感想と併せて、どのようなアウトプットを行い、どんな反応だったかなど簡単な内容となっております。二次元コードからもご回答いただけますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

次回の開催につきましては、近くになりましたらご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上で、第9回市長とジェンダーミーティングを終了いたします。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。